

# 「心に残る文化財子ども塾」指導案

日 時：令和2年7月14日（火）

1～4校時（8:35～12:10）

場 所：益田市立安田小学校

対 象：同校6年生2クラス児童40名

指導者：1名（安田小学校）

2名（古代文化センター）

1 主題 古代人の生活にふれてみよう～勾玉づくりに挑戦～

2 ねらい

- ・ 安田小学校周辺の古代の遺跡や遺物を知ることにより、地域の文化財への興味・関心を高めるとともに、ふるさとへの愛着を育む。
- ・ 勾玉づくりの体験を通じて、古代の人々のくらしや技術にあった知恵や工夫を知る。

3 展開（1クラス分）

| 時間            | 学習活動   | 指導者の支援及び留意点   | 準備物                      |
|---------------|--|---|--------------------------|
| 8:35<br>(15分) | 1. 講師を知り、今日の学習の流れを覚えておく。<br>2. 小学校周辺の遺跡を知る。                | ・ 古代文化センターの職員を紹介する。<br>・ 本時の学習内容を知らせて見通しを示す。<br>・ 古代文化センターの職員が進行する。   | 遺跡分布図<br>写真等<br>遺物（土器など） |
|               | 3. 土器を見て、その特徴や使い方の説明を聞く。また、当時のくらしについて考える。                  | ・ 遺跡地図や写真で小学校周辺の遺跡を知らせる。<br>・ 益田市内で出土した実物の土器を見てもらい、その説明をする。<br>・ 使い方を考えてもらうことから、古代のくらしや技術に関する既習事項の定着を図る。<br>・ 土器の説明をしたり、質問に答える。 |                          |
| 8:55<br>(15分) | 4. 勾玉づくりを準備する。<br>・ 勾玉の歴史や作り方の説明を聞く。<br>・ 体験での作業手順を知る。     | ・ 古代文化センターの職員が進行する。<br>・ 勾玉の歴史とその意味と、当時のつくり方を写真パネルや資料を用いて説明する。<br>・ 体験での作業手順を説明する。  | パネル                      |
| 9:10<br>(60分) | 5. 勾玉づくりを体験する。<br>・ 形を作る。<br>・ 丸みを出して仕上げる。<br>・ 片付けをする。    | ・ 勾玉の作り方を、指導者が実演しながら説明する。<br>・ 形のとり方、曲面のみがき方は丁寧に説明する。<br>・ 棒・紙ヤスリやレンガを配付する。<br>・ 先生とセンター職員は巡視し、個別に助言する。                         |                          |
| 10:10<br>(5分) | 5. 学習を振り返る。<br>・ 知りたいことをたずねる。<br>・ 感想を発表する。<br>・ 終りの挨拶をする。 | ・ 先生が進行し、センター職員は質問に答える。<br>・ 感想用紙を準備する。<br>・ 作った勾玉の事後の扱いなどを説明する。  | 感想用紙                     |

4 準備物

（小学校）土器を置く長机2台、パソコン（パワーポイント）、プロジェクター、スクリーン  
ほうき・雑巾等（清掃用具）、新聞紙（机の上に敷く）、水入れ（仕上げ磨き用）

（児童）筆記用具、マスク、体操服（汚れてもよい服）、作業用手袋（軍手など）

（埋文C）パワポデータ、資料、土器、白布、ガムテープ、玉作セット、写真パネル、カメラ